

千刈狸の呟き

本荘第一病院隣の河川公園に数千本のキャンドルを並べ、歌って踊って詩を朗読して、思い思いの時を過ごしていただくイベント「癒しの川キャンドルナイト」は今年7月で7回目を迎え、市民の皆さんにも浸透してきました。ひょんな事から知り合いになった由利本荘市内の自営業Kさんも、キャンドルナイトを支持してくれる一人です。昨年、第6回目の会場でKさんは、「石川コウ君に歌ってもらったら！この雰囲気合うよ」と。石川コウさんは由利本荘に軸足を置き活動するシンガーソングライター。人見知りの私に、面識のないミュージシャンに自分からコネクションを作りに行く勇氣などあるはずもなく、この件はそのまま打ち捨てておきました。すると、第7回の準備が着々と進んでいた2016年5月、そのKさんから「あの件はどうなった？」と連絡。渡りに船とばかりに仲介をお願いし一度会うことに。ミュージシャンと会うのは初めて！不安を払拭するためにCDとYouTubeで予習すると、情景が浮かび上がり心の裏まで感じさせるような歌詞とワンパターンでない曲の数々。たちまちファンになってしまいました。実際に会ってみると、曲から感じられるように優しいけど芯のある好青年！歌手活動のみならず、この秋田が元気になるために何かしたい、という思いから種々の活動をしている点にも共感しました。3度の打ち合わせ（という名目の飲み会）を経て、7月9日の本番。キャンドルナイトもライブも大成功！

さて、キャンドルナイトの翌週、「がんサバイバー登山」というイベントにも私は関わっていました。これは、がん患者さん、そのご家族など関係する方々と一緒に秋田駒ヶ岳に登り、「がんになったからといってあきらめることなく、明るく立ち向かう気持ち」を共有するためのイベントです。5回目を迎える今年は、世界初女性エベレスト登頂者であり、ご自身もがん患者である田部井淳子さんをゲストに迎え一緒に登る特別な登山でした。特別ついでにもう一つ、山頂ライブはどう

己の尻に火をつけて ～シンガーソングライター石川コウとの出会い～

キャンドル狸

だろうか？と思いついたわけです。一緒に汗をかき登頂し、美味しい豚汁を食べ、日頃の悩みから解き放たれ、ほぐれた心と体に石川コウの歌が染み入っていく。我ながらいいアイデアと確信したものの、問題は歌手の負担です。ギター抱えて登山なんて、見たことも聞いたこともありません。転んだらギターが壊れるリスクもあるし、酸素量が2割ほど少ない標高1,500mで普通に歌えるのか？という不安もありました。ダメ元でオファーしたところ、石川コウさんは快諾してくださり、山頂ライブは無事成功！しかも、この模様はAKTが30分番組にして放映したため、登山に参加できなかった方々にもサバイバー登山&山頂ライブの空気を伝えることができました。大変残念なことに、田部井淳子さんは約3ヶ月後の10月にがんのため逝去されました。世界を股にかけて活躍した登山家田部井淳子さんの最後から何番目の登山に、(もしかしたら世界初かもしれない)山頂ライブを届けることができ、良かった！

返す返すも、私の尻に火をつけてくださったKさんに感謝です！（石川コウさんの曲「己の尻に火をつけて」が入っている エフエム秋田開局30周年記念コンピレーションCD好評発売中です!!）



2016年 第7回癒しの川キャンドルナイトにて
(撮影：シブヤスタジオ 渋谷知宏)